

サルビア ミスティックスパイヤーズ ブルー

(*Salvia longispicata* × *farinacea*)

品種登録申請予定品種

【本種の特徴】

青のさわやかな花は花付が良く、四季咲き性です。
葉は丈夫で濃緑色です。
草姿はコンパクトでよくまとまり、分枝良い性質です。
造園やミックスコンテナに最適です。



【栽培】

用土

排水の良い、pHは5.8～6.3が最適です。

温度管理

夜温：17～20℃

昼温：21～26℃

照度管理

強光下で良く育ち、6,000～10,000f.c. (60,000～100,000lux) 程を好みます。
光の強度が4,000f.c. (40,000lux) 以下になると徒長し、分枝・開花が悪くなり、製品全体の品質が低下します。
短日下での栽培の方が、より開花が早まります。

灌水管理

土の表面が乾いてから灌水するようにします。乾燥気味の管理を好むが、植物が萎れるまで極端に乾燥させないように注意してください。

施肥管理

150～200ppmの窒素濃度を保つようにします。
過度のリン酸とアンモニウム態窒素は過剰な栄養成長を引き起こすので、これらの成分が過剰にならないように注意する。
新芽がクロロシス化（植物のクロロフィルの欠如による白化）した場合、鉄分を補ってください。
液肥管理を補強するために中程度の緩効性肥料を併用することができます。

ピンチ

鉢あげ後、7～10日でピンチをした方が良く仕上がります。
ポットサイズによりますが、1～2回はピンチをすることをお勧めします。ピンチは本葉を4枚ほど残した部分で行い、ピンチ後4～6週ほどで開花します。

生育調整

徒長を避けるために、適切な温度と光量を維持します。

土壌湿度が常に高い状態にあると徒長し、弱い製品になります。

スペーシングは充分に行ってください。

矮化剤の反応はよいです。ボンザイ（0.5～1.5ppm）を灌注か、B ナイン（2500～3000ppm）とサイコセル（1,000 to 1,500 ppm）のタンクミックスを1～3回散布することが有効です。矮化剤は10～14日ほど間を置いて処理するようにします。

長日下（14時間以上）で栽培する場合、矮化剤の処理をした方がバランスよく出来ます。B ナインとサイコセルのタンクミックスが最も有効です。

（矮化剤は一般的なガイドラインを基に、独自の環境下でテストを行った後に処理してください）

病害虫

害虫：スリップス、アブラ虫、ホワイトフライ、キノコバエ

病気：ボトリチス、ピシウム、リゾクトニア

問題

原因

株枯れ	茎の病害虫（ボトリチス）栽培用土の長期間の多湿（ピシウム）
過度の栄養成長、開花遅れ	リン酸とアンモニウム態窒素の過多。光線量の不足と栽培用土の長期間の多湿
分枝不良、株の徒長	生育初期の肥料不足。光線量の不足。

生産スケジュール（発根苗定植より出荷までの週数）

	12cmポット 1本/鉢	15～20 cmポット 1～2本/鉢	25～30cmポット 2～3本/鉢
発根苗	4～8	6～10	8～12